

マイナンバーカードが保険証に! 最大20,000ポイントは 今だけ!

図デジタル行政推進課 ☎39・2205

12月末までにマイナンバーカードを申請し、「健康保険証としての利用申し込み」や「公金受取口座の登録」をすると、キャッシュレスの買い物などで使える最大20,000円分のポイントがもらえます。お得な今、カードを作りましょう。

必要な情報を利用できる“自分だけ”のカードです!
国が個人情報を一括で管理する仕組みではありません。
顔写真入りだから、なりすまし不可。マイナンバーを見られても他人は悪用できません。



保険証、免許証としての利用で 手続き便利に!

○健康保険証として

国は、令和6年度から保険証をマイナンバーカードに原則切り替えると発表しました。

医療機関などでの手続き時間が短縮されるほか、本人が同意すれば、薬の使用歴や特定健診の結果なども確認できるようになります。

○自動車運転免許証として

今まで免許センターなどで行っていた運転免許の更新講習を、順次オンライン化するよう検討が進められています。

博物館など公共施設をお得に利用

公共施設の利用時に、マイナンバーカードを提示するとお得な特典が受けられるキャンペーンを実施中。申請中の人も利用できます。



▲詳しくはこちら

受け取り、忘れていませんか?

カードが出来上がるとはがきで「交付通知書」を郵送します。通知書が届いたらお早めに交付窓口へお越しください。



▲詳しくはこちら

図市民課 ☎39・7575



来年1月30日(月)まで募集中

- 1 戦災資料館の移転整備 (300万円) **新規**
- 2 悠久山公園で楽しく歴史を学ぶ環境整備 (100万円) **新規**
- 3 生活困窮世帯の子どもの学習塾利用を支援 (600万円)
- 4 「米百俵プレイス ミライエ長岡」にオープンするまちなか図書館の図書購入 (200万円)
- 5 猫の不妊去勢手術などの費用を助成 (100万円)

※ ()内は目標額

寄付方法=市ホームページで
※寄付金控除の対象です。長岡市民に返礼品はありません



ふるさと納税で クラウドファンディング

市民のみなさんもぜひ!

地域課題の 解決にご支援を

図ながおか魅力発信課 ☎39・5151

ふるさと納税の制度を利用して長岡市の政策を支援していただく「ガバメントクラウドファンディング」。令和3年度は、5つの事業に合計約1千万円の寄付をいただきました。このうち、生活困窮世帯の子どもたちへの支援では、97人の学習塾の利用経費を補助。意欲ある子どもたちの学力アップを応援できました。みなさんからの寄付が未来の長岡をつくる大きな力となります。市外の家族や友人にも、ぜひご紹介ください。

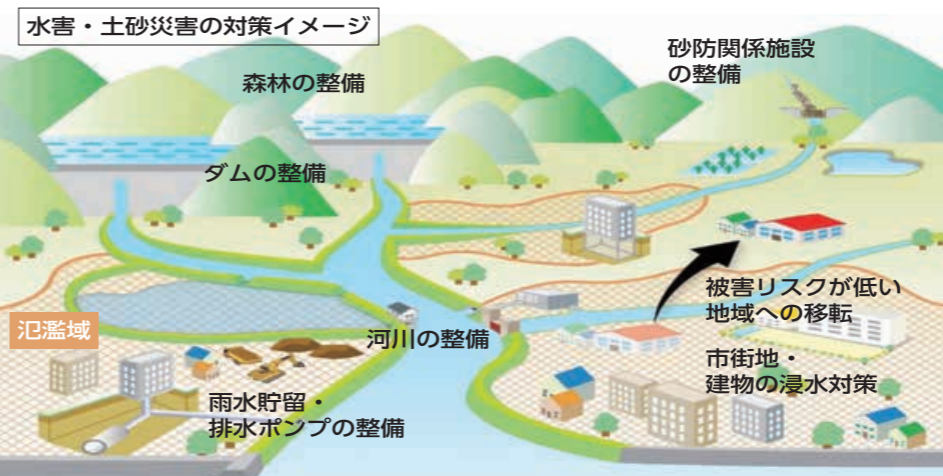
防災の視点を強化

これからのまちづくり

災害に強いまち

これまでの災害による教訓や水害・土砂災害・津波のハザードマップなどを活かし、頻発・激甚化する自然災害への対策を強化。市民や事業者などと協力・連携しながら、各地域の特性に応じた防災・減災対策の取り組みを進めます。

Pick up



取り組みの一例

- 市街地の浸水対策 (国・県との連携)
 - ・河川の改修や排水ポンプ場の整備
 - ・排水ポンプ車の配備 など
- 建物の浸水対策 (市民・事業者との協力)
 - ・防水板の設置、電気設備の移設、貯水タンクへの補助
 - ・自家発電設備の耐水化 など



▲令和5年度に完成予定の寿町排水ポンプ場



▲家庭用貯水タンク

住みやすいまち

生活に必要なサービスやコミュニティが各地域の拠点に集まるよう緩やかな誘導を図り、中心部と各拠点を地域の実情に応じた交通サービスでつなぎます。

- ・各拠点への都市機能の誘導
- ・まちなかのにぎわい創出
- ・移住・定住などに対する支援
- ・基幹的な公共交通網の維持・向上 など



コミュニティバス

★立地適正化計画の改定にご意見を

閲覧場所=都市政策課、アオーレ長岡情報ラウンジ、市ホームページ、各支所産業建設課(栃尾支所は農林・建設課)
募集期間=11月30日(水)まで



▶詳しくはこちら

立地適正化
計画
改定へ

防災まちづくりを推進 安心して暮らせるまちへ

図都市政策課 ☎39・2225

市は、人口減少や高齢化に対応したまちづくりを目指して平成29年度に「立地適正化計画」を策定しました。より災害に強くこれからも安心して住み続けられるまちづくりを進めるため、今年度、計画を改定します。